

令和4年7月8日(金)  
11:15 ~ 12:00

# 第111回東京都技術会議

# 会 議 次 第

1 開 会

2 議 題

- ・ 令和4年度「東京都技術会議」の活動
- ・ 都市インフラ施設の効果的・効率的な整備・管理
- ・ まちづくりやインフラ分野における国際発信力の強化
- ・ 技術力の維持向上に向けた技術職員の確保と育成

3 そ の 他

4 閉 会

## 東京都技術会議組織名簿

(座長)

東京都技監(建設局長 兼務)

中島 高志 (土 木)

(副座長)

都市整備局長

福田 至 (土 木)

下水道局長

奥山 宏二 (土 木)

(委員)

政策企画局技監(生活文化スポーツ局技監 兼務)

荒井 俊之 (土 木)

都市整備局技監(デジタルサービス局理事(データハイウェイ推進担当) 兼務)

安部 文洋 (土 木)

都市整備局技監

小野 幹雄 (建 築)

都市整備局理事(航空政策・交通基盤整備・交通政策担当)

谷崎 馨一 (土 木)

住宅政策本部技監

久保田 浩二 (建 築)

福祉保健局技監

成田 友代 (医 師)

建設局道路監

花井 徹夫 (土 木)

港湾局技監

山岡 達也 (土 木)

交通局技監

野崎 慎一 (機 械)

水道局技監

松田 信夫 (土 木)

流域下水道本部長

佐々木 健 (土 木)

※ 東京消防庁企画調整部長

岡本 透 (消 防)

※ 財務局 建築保全部長

渡辺 正信 (建 築)

※ デジタルサービス局次長

吉村 恵一 (事 務)

※ 環境局 環境改善技術担当部長

宗野 喜志 (土 木)

※ 中央卸売市場 環境改善担当部長

萩原 清志 (土 木)

※ (産業労働局所管) 地方独立行政法人 東京都立産業技術研究センター開発本部マテリアル応用技術部長

瓦田 研介 (理工技術)

※ オブザーバー

## 【資料】

- 資料 1 令和 4 年度 東京都技術会議の活動
- 資料 2 都市インフラ施設の効果的・効率的な整備・管理
- 資料 3 まちづくりやインフラ分野における国際発信力の強化
- 資料 4 技術力の維持向上に向けた技術職員の確保と育成

参 考 東京都技術会議設置要綱、組織名簿

## 検討テーマ1 都市インフラ施設の効果的・効率的な整備・管理【新規】

### ★インフラ整備・管理部会

【目的】自然災害の激甚化・頻発化、インフラ老朽化の進展、人口減少等による担い手不足、デジタルシフトの加速、ゼロエミッション、電力需給ひっ迫への対応など社会経済情勢は大きく変化している。

このため、官・民・都民との連携強化やDX等の活用、将来の維持管理・利活用まで見据えた整備により、ストック効果を最大限発揮する取組みを推進していく。

【事務局】下水道局、港湾局

## 検討テーマ2 まちづくりやインフラ分野における国際発信力の強化【新規】

### ★国際発信力強化部会

【目的】国際的な都市間競争が激化する中、東京を更に発展させるためには、東京2020大会に向けて進めてきた海外発信など国際的な展開力を高める取組みを一層強化する必要がある。

このため、都の先進的な取組みの発信や海外先進事例の調査・研究、海外主要都市との技術交流により、国際的なプレゼンスを向上させる。

【事務局】都市整備局、水道局

## 検討テーマ3 技術力の維持向上に向けた技術職員の確保と育成【継続】

### ★技術力維持向上部会

【目的】「未来の東京」戦略に示した東京の将来像の実現に向け、都市活動や都民生活を支えるまちづくりやインフラ分野における整備・管理などの取組を着実に推進するためには、取組を支える都の技術職員の役割が重要である。このため、令和3年度の技術力維持向上部会の取組も踏まえ、「都庁技術者」の人材確保及び人材育成の方策について更に検討し実施する。

【事務局】住宅政策本部、交通局

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
本会議			第111回 (7/8) ★					第112回 (講演会) ★			第113回 (最終報告) ★	
幹事会			第1回 (6/27) ★					第2回 ★			第3回 ★	
部会	本会議、幹事会にあわせて随時開催											

## (1) 事業主体（官・民・都民等の連携、ノウハウや能力の積極的な活用）

### ○区市町村等との連携

高台まちづくり、自転車活用推進重点地区 など

### ○民間との連携

下水熱の利用、Park-PFI など

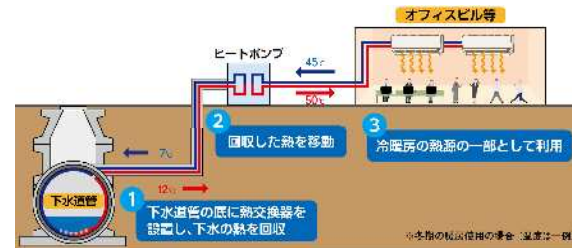
### ○都民との連携

道路通報システム、ボランティア団体連携 など

(1)



自転車活用推進重点地区  
(区市町村等との連携)



下水道管からの熱利用  
(民間との連携)

## (2) 手法（DX、ゼロエミ等）

### ○デジタル技術を活用した設計・施工

ICT施工、BIM/CIM技術 など

### ○最先端技術を活用した施設管理

ドローンの活用、AIの活用 など

### ○電力需給ひっ迫等への対応

省エネ・再エネ、非常用発電 など

(2)



離島港湾DX  
(デジタル技術・最先端技術の活用)

(3)



橋梁の長寿命化〈床版の取替〉  
(施設の持続的保全)

## (3) 時間軸（維持管理・利活用）

### ○施設の持続的保全

道路、港湾、地下鉄、上下水道等の予防保全型管理

### ○施設の利活用

品川シーズンテラス、ほこみち制度 など

## (1) 東京都の先進的な取組みを発信

### ○国際ネットワークを活用した発信の強化

国際会議でのプレゼン、ブース出展、  
開発途上国への技術支援 など

### ○戦略的な広報の推進

Tokyo Tech Bookの充実、  
海外向けSNSによる発信 など

## (1)



国際会議でのブース出展の様子  
(平成31年4月16-19日：第8回アジア土木技術国際会議)



Tokyo Tech Book  
(都が誇る高い技術力を国内外に示し、海外諸都市が抱える課題の解決に寄与すること等を目的とした冊子)

## (2) 海外主要都市の先進事例の調査・研究

### ○海外研修等を活用した調査

主要都市への渡航調査、バーチャル調査 など

## (2)



バーチャル調査の様子  
(令和4年3月17日：ドイツ・ハーフェンシティ(尙))

## (3)



インフラツアーの様子  
(令和元年9月5日：東京都水道歴史館)



## (1) 令和5年度採用活動に向けた「都庁技術者」のPR

### ○技術職の仕事内容や魅力を体感

都庁インターンシップ（対面）、1day技術職  
オンライン仕事体験、技術職オンライン相談会 など

### ○学生が都政に興味や関心をもつ情報発信

技術職採用動画の活用、東京TECHブログの更新、  
都庁セミナー、土木技術講習会への参加 など

### ○将来の担い手である学生へ直接アプローチ

OB・OG等による大学・工業高校への訪問 など

(1)



技術職採用動画  
(土木職・建築職のダイジェスト編)



地下鉄トンネル検査へのタブレット導入  
～若手土木職員の仕事・東京都交通局～

東京TECHブログ

## (2) 「都庁技術者」の育成

### ○建設現場等におけるデジタル技術の習得

BIM/CIM技術の研修、民間企業等のICT活用研修  
など

### ○都市強靱化や環境負荷低減に向けた現場体験

ZEB化建築施設の視察、インフラ施設現場の視察  
など

(2)



高規格堤防等の研修  
(昨年度の事例)



ドローン映像による現場施工体験  
(昨年度の事例)